

信頼性試験結果

製品名 : FA-128 (30 MHz < fo ≤ 40 MHz)

◆弊社評価条件

弊社では環境特性及び機械的特性を下記試験条件により評価しています。

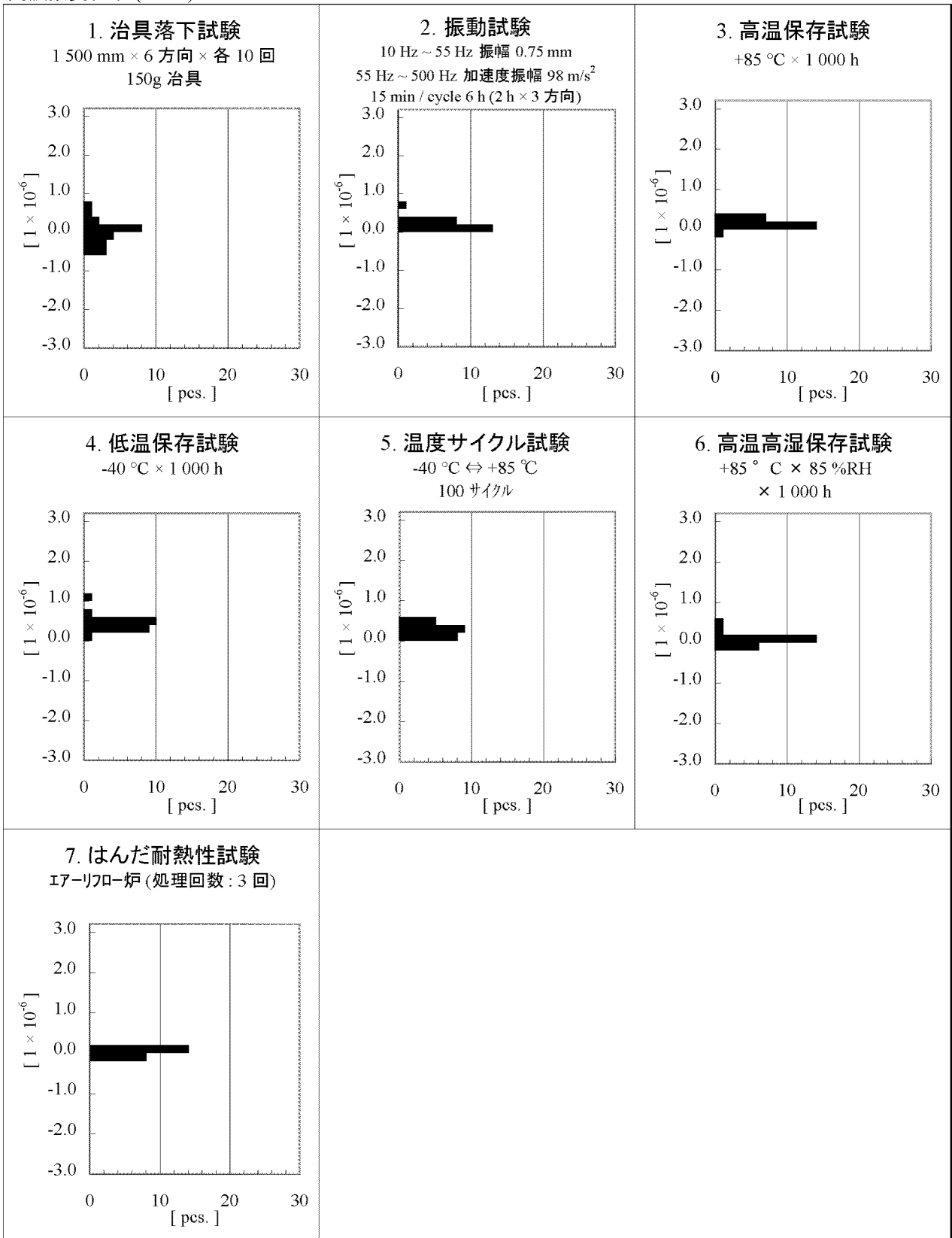
No.	試験項目	条件	判定規格 *1 *2	試料数 [n]	故障数 [n]
			周波数変化率 $\Delta f / f$ [1×10^{-6}]		
1	治具落下試験	高さ 1 500 mm よりコンクリート上に 6 方向 各 10 回 150 g ダミー治具(弊社標準治具) で落下させる	*3 ± 2	22	0
2	振動試験	10 Hz ~ 55 Hz 振幅 0.75 mm 55 Hz ~ 500 Hz 加速度振幅 98 m/s ² 10 Hz → 500 Hz → 10 Hz 15 分 / サイクル 対数掃引 6 h (2 h × 3 方向)	*3 ± 2	22	0
3	高温保存試験	+85 °C × 1 000 h	*3 ± 2	22	0
4	低温保存試験	-40 °C × 1 000 h	*3 ± 2	22	0
5	温度サイクル試験	-40 °C ⇔ +85 °C 各温度 30 分 × 100 サイクル	*3 ± 2	22	0
6	高温高湿保存試験	+85 °C × 85 %RH × 1 000 h	*3 ± 2	22	0
7	はんだ耐熱性試験	エアリーフロー炉による (処理回数 3 回)	± 2	22	0
8	耐基板曲げ性試験	基板たわみ量 3.0 mm × 5 秒 ± 1 秒 × 1 回 荷重を加える IEC 60068-2-21 による	はんだ付け部の 剥離のないこと	11	0
9	固着性試験	10 N × 10 s ± 1 s 荷重を加える IEC 60068-2-21 による	はんだ付け部の 剥離のないこと	11	0
10	引き剥がし強度 試験	10 N × 10 s ± 1 s 荷重を加える IEC 60068-2-21 による	はんだ付け部の 剥離のないこと	11	0
11	はんだ付け性試験	+235 °C ± 10 °C のはんだ槽に端子を 5 秒間浸漬する (ロジン系フラックスを使用)	浸漬面の 95 % 以上が 新しいはんだで 覆われること	11	0

<注記>

- *1 各項目を独立して試験した場合の規格値とする。
- *2 各試験終了後、常温放置 2 h ~ 24 h 後に測定した値とする。
- *3 試験は試験前に、前処理(エアリーフロー 3 回)を行い常温放置 24 h 後の測定値を初期値とする。
- 各試験における等価直列抵抗の変化量が +20 % 又は 10 W のいずれか大きい方以下であること。

製品名 : FA-128

周波数変化率 ($\Delta f/f$)



製品名 : FA-128

CI 値変化量 (ΔCI)

